

## 第2回日進市史編さん委員会 議事録

日 時	平成 22 年 11 月 12 日（金）午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
場 所	日進市役所南庁舎 第 5 会議室
出 席 者	萩野幸三市長、田中民雄副市長、山田誠子教育長、山田美代子委員、宮澤明倫委員、山本文次委員、加藤広司委員、塚本篤委員、林董一委員、出原正委員、田中八隆委員、渡辺仁委員、青山雅道委員、堀之内秀紀委員
欠 席 者	赤羽一郎委員、浅井常典委員
事 務 局	鈴木生涯学習課長、檜垣課長補佐、菅原主事
議 題	(1)市史編さんの進捗状況について (2)民俗編及び自然編の巻構成（案）について (3)今後の計画について

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。只今から、第 1 回市史編さん委員会を開催いたします。</p> <p>最初に会長であります、萩野市長より、ご挨拶を申し上げます。</p>
会長	<p>本日はお忙しい中ご出席いただき、ありがとうございます。この会は昨年組織し、約 1 年が経過したが、自然部会・民俗部会に分かれてそれぞれの地域に出向き地道に調査を続けていただきありがとうございます。この中で、貴重な昆虫等が見つかっているという報告もいただいております。</p> <p>今後とも皆様のお力をお借りし、市制 20 周年を迎える平成 26 年度に、民俗編・自然編の完成を目指したいと考えている。本日は、これまでの成果等、進捗状況を確認し、今後につなげてまいりたいのでよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p>第 1 回市史編さん委員会は平成 22 年 1 月 28 日に開催しておりますが、今年度新たに市史編さん委員をお引き受けいただいた委員のご紹介をさせていただきます。</p> <p>日進市教育委員会教育委員の山田美代子様、小中学校校長会代表の山本文次様、日進市区長会長の加藤広司様、日進市自然観察会会長の渡辺仁司様、日進市総務部長の堀之内秀紀、以上の方々でございます。任期につきましては、平成 22 年 1 月 28 日に開催した第 1 回編さん委員会から 2 年間となっているため、平成 24 年 1 月 27 日までになりますのでご了解いただきますようお願いいたします。</p> <p>次に、事務局職員を紹介させていただきます。【事務局紹介】</p>
事務局	<p>議題に入る前に資料 2 ページ「市史編さん組織体制」について簡単にご説明いたします。市史編さんに関する基本方針に関する事、刊行計画に関する事などの重要事項を検討・審議する委員会として本日開催している編さん委員会を組織している。また、円滑に市史編さん業務を進めるため、民俗部会と自然部会の 2 つの専門部会を設置している。次に、監修者と各部会の部会長及び副部会長により構成されている編集委員会を置いており、各専門部会間の調整等を行っていただくこととなっている。</p> <p>なお、編集委員会、各部会の委員名簿を添付させていただきました。これらの委員会が連携・協力して市史刊行の目的を果たしていくこととなります。</p>

事務局	それでは、議題(1)市史編さんの進捗状況について事務局より説明させていただきます。
事務局	<b>【市史編さんの進捗状況について説明】(資料1)</b>
事務局	ただいまご説明いたしました市史編さんの進捗状況について、ご意見ご質問のある方はいらっしゃいませんか。
委員	先ほど民俗部会のご説明の中で、「ムスメアソビ」について触れておりましたが、本郷では「ヨアソビ」と言っていた。夏も冬もあったが特に多かったのは夏だったと思う。
事務局	「ムスメアソビ」と聞くと悪いイメージを想像されるかもしれないが、実はとても健全なものだった。地域によって違いがあり、盛んな地域とそうでないところがあったようだ。
事務局	これまで民俗部会の聞き取り調査は3地区にお邪魔しているが、今後の予定についてお話しすると、1月2月に三本木区、その後は北新区を予定している、本郷区は来年度以降に予定しておりますので、よろしくお願ひしたい。他にご質問のある方はいらっしゃいませんか。
委員	ただいま、調査の一端をお聞きしその大変さと熱意に感銘を受けている。本市では、新総合計画という平成23年度から平成32年度までの10年計画を策定している。この市史編さん事業についても「現在から未来に生きる指針となる歴史を記録し、今後の人々に伝える」と明確に位置づけている。円滑な執筆及び刊行にご協力いただきますようお願いいたします。
事務局	他にご意見、ご質問のある方はいらっしゃいませんか。 次に、議題(2)民俗編及び自然編の巻構成(案)について事務局よりご説明いたします。
事務局	<b>【民俗編及び自然編の巻構成(案)について説明】(資料2)(資料3)</b>
事務局	ただいまのご説明いたしました民俗編及び自然編の巻構成(案)について、ご意見ご質問のある方はいらっしゃいませんか。 本日、愛知県史や豊明市史、長久手町史など他の市町の市史の現物を準備しておりますので、大きさやページ数など参考にさせていただければと思います。
委員	9ページの資料3、第5章動物の第1節「淡水貝類」の貝の字が違うようですが、いかがでしょうか。
事務局	ご指摘のとおりですので、訂正させていただきます。
委員	民俗編のことでお聞きしたい。高度成長期以前と現在とで言葉遣いが違っている部分についてどのように取扱うのか。また、方言について、今のうちに収集しなければなくなってしまうのではないかと危惧している。先日もワラで編んでおひつを入れておくものの名前である「イスミ」がどうしても思い出せないことがあった。これについてはどのようにされるのか。
事務局	民俗部会の委員がおられるのでご意見をお伺ひしたい。
委員	民俗部会では、聞き取り調査の際にお聞きしたものの名前などは、たいていカタカナで表している。その表記に関しては、できるだけ話者が表現したとおりの表記としている。

	<p>また、方言についてはこの目次（案）に入っていないが、これから検討したい。聞き取りを行う中で方言を記録することとし、特に章などを設けないという方法も合わせて検討したい。</p>
副会長	<p>市史編さんは文字で記録することが中心だが、お囃子やお馬頭など文字での表現が難しいものについては、音声をCDなどで残せるといいと思う。市制 20 周年には間に合わなくてもいいので是非まとめていただきたい。</p>
事務局	<p>音の記録に関しては、昨年度は岩藤天王まつりの様子を、また今年度は赤池の木遣りと提灯まつりの様子をDVDに記録するよう取り組んでいる。市史の中で音に関して取り扱うかどうかは、今後、編集委員会等で議論していきたいと思う。</p>
委員	<p>民俗編の巻構成(案)について、オーソドックスであると思う。民俗編の構成はどの市町もだいたいこのような形であるが、先ほどご指摘があったように、方言や地名が抜けている。方言、地名は民俗編には必要であると思うが、現在の体制では難しいので、もし、方言や地名を新たな章に入れるなら、別に専門家の方を補充する必要があると思う</p> <p>次に音の文化史のようなものを作成することに関しては、どこの市史などでもやったことがないものであり、一般的ではない。日進市史の特色を出すなら、難しいと思うがとてもユニークであると思う。</p>
事務局	<p>今後、部会や編集委員会等において検討していきたい。 そのほかにご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>民俗編の第二章に生業とあり、第一節「耕地と水利」とありますが、この中に農具は入るのか。</p>
事務局	<p>民俗部会の委員の中に農業についてお聞きする委員がおりますので、農具についても詳しくお聞きしております。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
委員	<p>第六章信仰の第三節に民間信仰とありますが、この中の「山岳信仰」に「やまのかみ」は入っているか。昔、子どもがやっており「やまのこ」と言っていた。</p>
事務局	<p>「山の子」については第五章年中行事の冬の行事の中で、子どもの一番の楽しみは「山の子」と「左義長（さぎっちょ）」ということもお聞きしており、そちらに記載されると思われる。</p>
委員	<p>了解しました。</p>
事務局	<p>他にご意見、ご質問のある方はいらっしゃいませんか。 次に、議題(3)今後の計画について事務局よりご説明いたします。</p>
事務局	<p><b>【民俗編及び自然編発刊スケジュール(案)について説明】（資料4）</b></p>
事務局	<p>ただいまのご説明いたしました民俗編及び自然編発刊スケジュール(案)について、ご意見ご質問のある方はいらっしゃいませんか。</p>
委員	<p>印刷するにあたって、レイアウトや口絵を委員の方で決めると思うが、事務局ですべて決めていくのか。プロにお願いした方が円滑にいくのではないか。</p>

事務局	民俗編と自然編でやり方は異なるが、口絵写真の選定などは編集委員会とは別の、それぞれの部会ごとの編集会議で選定し、レイアウトのデザインについてはある程度は決めた上で、印刷業者と相談するところになると考えている。
委員	印刷業者をうまく使うとともに十分に調整を行うことが重要になってくると思う。
事務局	編集委員会や各部会との連携を図りながら、業者との調整等を進めていく必要があると考えておりますので、よろしく申し上げます。貴重なご意見をありがとうございます。 他にはございませんでしょうか。 それでは、全体をとおしてご意見・ご要望等はございませんか。
委員	民俗編について、調査が進んでしまう前に方言や地名についてどうするかを、早く部会を開いて決めていただけたらいいのではないかと。後戻りはとてもしにくいと思う。
事務局	ありがとうございます。他にご意見等はございませんか。
委員	10 ページの下の方に記載してあることについて説明をお願いしたい。
事務局	10 ページについては、自然部会の各委員が調査を行うにあたり、自然編の大体のページ割を決めておいた方がいいということで（案）を作成した。下の方に「B5」とあるのは、自然部会としては現段階では「B5」が望ましいということであり、今後、民俗部会と調整していくことになります。 民俗部会と自然部会で版の大きさを統一するかどうかなど、編集委員会及びこの編さん委員会にお諮りして正式決定する予定です。
委員	わかりました。
委員	民俗編、自然編とも写真をどの形で保存するのか、ということについてはいかがか。デジタルが多いのか。また、デジタルでいいのかどうか。スライドとデジタルでは費用が全く変わってくる。
事務局	委員の皆様にお聞きすると、デジタルの方が最も多い。最近ではスライドにする方が少なくなっており、1枚あたりの単価がとても高い。中には普通のフィルムやリバーサルフィルムを使用している委員の方もお見えだが、多くはデジタルカメラを使用している。印刷業者もデジタルカメラに対応していただけだと思う。
委員	了解しました。
事務局	他にご意見はございませんでしょうか。
委員	市民に情報提供を求めていると思うが、情報を提供したいがどうすればいいのかと思われる方もみえると思うので、そういう思いにこたえる何らかの呼びかけを行ってはいかがか。
事務局	「広報にっしん」に「日進むかしむかし」というページがあり、そのページの中に小さな囲み記事があり、市史編さんの調査の様子を盛り込みながら、情報提供の呼びかけを行っている。 市史編さんに関する市民の皆様への周知は、広報などでPRするページをいただいたりしているが、まだあまり知られていない状況です。PRの方法については今後さらに検討していきたい。

事務局	<p>他にご意見等はございませんか。監修者の林先生から全体をとおしてご意見をお願いします。</p>
委員	<p>編さん委員会が編さんに関する最高の機関ですから、是非この会で基本的なことについてお決めいただきたい。それは本の装丁で、ひとつは版の大きさ（版型）、次に表紙がハードカバーかソフトカバーか、もう一つはオールカラーとするかどうかです。オールカラーとするかどうかでは価格は全く違い、予算に大きく影響する。ただ、自然編はオールカラーでないとみっともないものになる。また、ページ数や定価についてもお決めいただく必要がある。</p> <p>市民の皆さんが買いやすい価格とするためには、費用をかけすぎてはいけない。費用をかけ過ぎると定価に影響する。目途としては 3 千円を超えて 5 千円となるとちょっと買うのを控える。今後、そのような重要な事項を審議していただくこととなりますのでよろしくお願ひしたい。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今後、専門部会、編集委員会などでご意見をお聞きしながら（案）をお示ししてまいりたい。</p> <p>他にご意見はございませんか。</p> <p>これで、本日予定させていただきました、議題につきましては、全て終了しました。貴重なご意見等をいただきありがとうございました。以上を持ちまして、閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>
	<p style="text-align: right;">（午後 2 時 30 分 閉会）</p>